

2016年  
9月中国四国農政局  
愛媛県拠点

防災訓練

## News Letter

長期保存できるレトルト食品で「つなぐ安全、届ける安心」  
～株式会社ジェイコム(おかず箱事業部)～

南海トラフでの地震の発生確率は、今後30年で70%程度とされています。また、近年、地震や台風などの自然災害が全国各地で発生しており、改めて災害に備える必要を感じた人も多いことでしょう。

大規模な災害が発生して、ライフラインが途絶え、道路が寸断されれば食料の供給が滞ります。このような事態に命をつなぐ糧となるのが非常食です。

缶詰や防災用の保存食ばかりを大量に購入する方法もありますが、費用がかさみ、単調な食事になりがちです。普段使っている食料品等の「買い置き」も有効な備蓄方法の一つです。

今回は、おかずの一品であり、長期保存ができるレトルト食品を紹介します。



株式会社ジェイコム

介護・福祉分野を中心に様々なサービスを行う株式会社ジェイコム(西条市)のおかず箱事業部では、地元の新鮮な食材を活かしたレトルト食品を開発・製造し、買い物が困難な高齢者世帯などを応援しています。お母さんの味のレトルト食品がたくさん詰まったおかず箱は、30種類以上の豊富なメニューで、会社等の社員食堂にも利用され、全国に美味しい味を届けています。

おかず箱のレトルト食品は、保存料、殺菌料を使用しておらず、安心して食べれる「普通のおかず」です。常温で3年超えの長期保存が可能で、非常用備蓄食にも最適です。同社では、使ったらその分を買い足す「ローリングストック法」を勧めており、循環させることで無駄なく備蓄を続けられると言います。もしもの時は温めなくても食べることができ、普段食べ慣れているおかずが、いざという時の非常食になります。

利用者からは、「家庭の味を手軽に楽しめ、非常食になるという点も心強く安心。何よりも訪問してくれることが楽しみ」と好評です。

同社では、現在、市内で栽培されるはだか麦や玉ねぎ、里芋等を使い、栄養価の高いレトルト食品(スープ等)の開発を進めています。



豊富なメニューのおかず箱

農林水産省では、平成26年に「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」を策定し、その中で、最低でも3日分、出来れば1週間分程度の食料品の備蓄に取り組むことを推奨しています。

いつ、どこで発生するか分からない災害に備えるには、家庭や職場などにおける日頃の備えが大切です。



レトルト食品(肉じゃがと牛すじ大根)

## 【参考】

農林水産省「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」 <http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/gaido-kinkyu.html>

# 農林水産業の輸出力強化戦略について学ぶ ～えひめ農業・農協問題研究会～

政府は、平成28年5月19日に開催した、農林水産業・地域の活力創造本部（本部長：内閣総理大臣）において「農林水産業の輸出力強化戦略」を取りまとめ、平成32年の農林水産物・食品の輸出額を1兆円とする目標の前倒しを目指しています。

J A 愛媛中央会が事務局となり、愛媛大学農学部やJ A 関係者等、愛媛県内の農業関係者を会員とする「えひめ農業・農協問題研究会」では、平成28年9月15日（木）の開催テーマの1つを「農林水産物・食品の輸出戦略について」とし、中国四国農政局経営事業支援部の佐々木地域連携課長より説明の後、質疑応答が行われ活発な意見交換となりました。



佐々木地域連携課長



会場風景

国内の食市場が縮小する中で、アジアを中心に世界の食市場は拡大しており、日本のおいしくて安全な農林水産物や食品は、海外で高い評価を受けています。輸出は、農林水産物・食品の販路拡大につながる重要な手段であり、農林漁業者・食品事業者の所得向上とともに、生産拡大の環境が整うことで、意欲ある若い担い手が新たに参入し、農林漁業の閉塞感の打開にもつながることが期待されます。

輸出を取り巻く課題や問題点に対して、実践的な輸出戦略を策定し、政府・民間が一丸となって輸出に取り組むことが重要です。

## インフォメーション

### 「2016年 秋の農作業安全運動」実施中！

農林水産省は、毎年約350件発生している農作業死亡事故を減少させるため、9月から10月までを農作業安全対策の重点期間として、「2016年 秋の農作業安全確認運動」を実施しています。

#### 実施期間

平成28年9月1日（木）～平成28年10月31日（月）まで

#### 重点推進テーマ

「一人一人の安全意識の向上で事故防止」

農作業安全  
ポスター

#### 運動の展開方向

全国の行政機関、農機販売店、生産者団体など関係機関の協力により、研修会、展示会、戸別訪問など農業者に直接接する機会を利用し、農作業安全ポスターの配布などを行い、農作業安全の徹底を呼びかけます。

詳しくは農林水産省ホームページをご覧ください（「農水省 秋の農作業安全」で検索）  
[http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/2016\\_autumn.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/2016_autumn.html)



家族や仲間と声掛け合って、農作業事故をなくしましょう。

編集：中国四国農政局 愛媛県拠点

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1177 FAX(089)932-1872 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中（登録はこちらから）<http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>